

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

か

女子1回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
県立佐世保西	19	<table border="1"> <tr> <td>10</td> <td>—</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>—</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7mTC</td> </tr> </table>	10	—	11	9	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7mTC			26	県立幕張総合
10	—	11																				
9	—	15																				
—	—	—																				
—	—	—																				
—	—	—																				
7mTC																						

1回戦、地元千葉開催で勢いにのる幕総は、息のあったコンビプレーから2番齊藤が得点すると3

連取する。佐世保西はタイムアウト後、GKの浦芳の好セーブでリズムを立て直そうとするが、幕総

のGK矢野の好セーブに阻まれ、逆に幕総が速攻で得点を重ねる。前半15分で7-3とリードを

広げたが、幕総が退場したのを機に流れが変わり、佐世保西10番の笠松のミドルで追い上げ前半

を11-10の幕総リードで終わった。

後半序盤、一進一退の攻防がつづいたが、幕総GK矢野を中心に安定したDF、幕総5番の百瀬の

カットインシュートなどでじわじわと差を広げて、後半11分、12-16の4点差となったとこ

ろで、佐世保西がタイムアウトをとる。リズムを変えたい佐世保であったが幕総のDFは大きく崩

れずその後も得点を重ねた幕総が26-19で初勝利となった。

31年 3月 24日

記載者氏名 加藤 充

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

き

女子1回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
高野山	17	7	16	県立横浜平沼
		10	10	
		—		
		—		
		—		
		7mTC		
			26	

前半序盤、お互いに3-2-1の高い位置でのディフェンスに対して、高野山3番尾崎の横浜平沼の速いオフェンスと5番笠井のカットインからのシュートなどで3-7とリードする。中盤で7番吉川がシュートをよく決めリードをひろげる。前半終了間際に横浜平沼の15番早川が2分間の退場となるも、7-16とリードは大きく広がり前半は終了する。

後半1人欠く横浜平沼だが、2番山村のパスカットから先制し、勢いよく3連取、高野山も9番金川のミドルシュートで対抗するも、高い位置でのディフェンスを崩し切ることができず、点差は詰まらず広がっていく。終盤になり、横浜平沼のミスが目立ち得点が止まってしまうが、リードが縮まりきることがなく、17-26で横浜平沼が勝利する。

31年 3月 24日

記載者氏名 西山 倭人



平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

け

女子1回戦

会場 市川市塩浜体育館

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立日川	19	10	11	神戸星城
		9	17	
		7mTC		
			28	

試合開始すぐ、テンポの良いパス回しで神戸星城の11番荒川が先制を取り、堅実な3-2-1DFを展開した。対する日川は足を使ったねばり強い6-0DFで対抗するも、神戸星城10番の森の切れのあるシュートや速いパス回しで得点を重ねる。日川も6番山下のサイドシュートなどを中心に点差を広げずに耐えていたが、終盤は神戸星城2連取し、10-11で前半が終了した。

後半開始6分で、神戸星城14番廣本のサイドなど5連取したところで、日川のタイムアウトを取ったが、その後も9番の戎井と14番廣本のサイドシュートを止めることができず、後半12分頃には12-22とリードが広がる。中盤は、日川7番の掛本のカットインで攻めていくが、点差を縮めることができず、19-28で神戸星城が勝利した。

31年 3月 24日

記載者氏名 西山 倭人